

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2年 8月 21日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3475000018		
法人名	有限会社 ヒサオカ		
事業所名	グループホーム いこいの里		
所在地	広島県江田島市江田島町中央一丁目20-3		
自己評価作成日	令和2年7月17日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3475000018-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3475000018-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年8月6日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

少人数の施設なので一人ひとりの思いを日々の介助の中できみ取るようにし、出来る限りその思いに沿えるように、又日々、穏やかに過ごすことが出来、楽しいと感じられる時間を提供出来るような支援に努めています。ADL維持向上、認知症進行予防の為、出来る事、出来ない事を判断し、出来ることはゆっくりでも行って頂き、出来ないことだけ介助するようにしています。館内では利用者様は自分の思う行動をとって頂き家庭的な雰囲気でも過ごして頂けるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

施設理念に「生きがい、尊厳の重視」を掲げ、自分が自分を生かし、生きがい、役割を持ち楽しい人生を過ごせること、家庭的な空間、人としての尊厳を重視し、職員は理念を基にサポートする立場である自覚を明確に持ち自立支援に向けて日々尽力している。職員全員で考案した職員理念も毎日の唱和にて周知に努め、利用者同士で一緒に過ごせ話ができるように配慮を行うことや、利用者個々の自分でできることに目を向け寄り添うことで生きがい、自立に繋げるケアを実践している事業所である。運営推進会議では小学校校長や市議会議員など様々な関係者の参加があり、それぞれの視点から提案など活発な意見交換が行われ、情報共有の機会となり、サービスに反映されている。日常の散歩や裏庭での日光浴、畑での栽培や収穫など外気や自然を身近に感じ、花見やさつき見学など四季を感じれる外出支援が利用者の楽しみとして定着している。

自己評価	外部評価	項目(ユニット 1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	施設理念と職員理念を決め、職員理念は三か条にして、朝、夕の申し送り時に唱和している。 職員は実践に繋げていくため、目標を決め、自己評価を行っている。	施設理念は各階に掲示があり、職員全員で考案した職員理念「思いやり、笑顔のある介護、愛のある介護」を朝夕の申し送りで唱和し理念に沿った支援の実践に努めている。職員それぞれに職員理念を基に個人目標を毎年作成しており、半年ごとに振り返り評価を行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近所の方とは時々話をしたり、お花やみかん等を頂きました。地元のこども園、小学校、ボランティア団体の慰問を受けたり、小学校の運動会、盆踊りに招待されていた。今年はコロナウイルス感染予防の為小学校の運動会等中止になっている。9月の敬老会には交流出来ればと期待している。	現在、新型コロナウイルス感染防止対策のため、外部からのボランティアとの交流は中止しているが、地元の小学校やこども園との交流、日本赤十字ボランティアや地元のボランティア団体の訪問があるなど、地元地域との交流が利用者の楽しみとして定着している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	事業所が積み上げてきた認知症の人の支援の方法等を地域で役立てる事がないか民生委員に相談し検討している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では利用者の状況や施設状況、行事報告、事故報告等を行い、意見交換を行っている。 頂いたご意見は取り入れるようにしている。	同法人のグループホームと合同にて開催している。参加者には複数の利用者家族や行政関係者を始め、民生委員、小学校校長、市議会議員、ボランティア団体と様々な顔ぶれにて行われている。広報誌の内容に助言をもらい改善したり、感染症対策について意見交換したりと活発な意見交換がなされている。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市の担当者とは日頃から連絡を取り、疑問点など、相談にのって頂いている。この度担当者が変わったので、協力関係が築けるように努めたい。	管理者はなるべく役所に足を運ぶことを心掛けており、運営推進会議の議事録や必要書類の提出などあれば直接に持参し、担当者顔の見える取り組みを継続して実践している。市の主催する研修も可能な限り参加している。	

自己評価	外部評価	項目(ユニット 1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	施設の周辺は坂道になっており、玄関を出ると事故になる可能性が高いので玄関の施錠は行っている。 裏庭には日光浴に出られるようにしている。身体拘束廃止委員会を行いスピーチロックも含め、本人様の自由に行動出来るようなケアに取り組んでいる。	2か月に1回、身体拘束廃止委員会を開催し、会議の内容を全体ミーティングにて報告し周知に努めている。立ち上がる動作を見ればトイレに誘導することや、行きたいところには見守りを重視して自由に行動してもらいなど、利用者の行動の意思をしっかりと汲みとり対応を行う支援を行っている。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	ミーティングで身体的虐待、言葉による虐待を話し合い、虐待にあたる行為はどのような事かなど防止に努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見制度はミーティング等で学び活用出来るようにしている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結時には十分な説明を行い、疑問点にも納得出来るように説明を行っている。 入所後に疑問が生じた場合はその都度説明を行っている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議、面会時等で家族様の要望を伺うようにしている。本年度は「コロナウイルス感染症」の影響で家族交流会を中止にしましたが、例年は家族交流会でもご意見を伺うようにしている。	普段の面会時や、年1回の家族交流会を行い家族の意向を確認している。圧迫骨折をした利用者や、その家族の歩ける練習をして欲しいという意向に歩行訓練を行い、散歩に行きたい希望には天候のいい日には積極的に散歩を取り入れ実施するなど、要望にできるだけ応えるように努め実践している。	

自己評価	外部評価	項目(ユニット 1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員の意見や提案はミーティングや毎日の申し送り時に聞いている。代表者と相談し反映出来るようにしている。</p>	<p>申し送り時や全体ミーティングで意見を提案できるようにして話し合いを行っている。その他、管理者は業務内において話を聞いたり、個別に時間を設け、職員の思いをゆっくりと聴く時間を持つなど柔軟に対応し職員の意向や要望を確認し、反映できるようにしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員は自己目標を設定し、半年後に自己評価を行うと共に、勤務状況に対しても自己評価、管理者評価を行っている。向上心、やる気を持てるように努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>管理者は職員一人一人のケアの力量を把握し、職員からの質問に答えたり意見交換を行い介護力、知識の向上を助けたり、施設外の研修に参加出来るように努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>職員は地域の研修や介護職のケアカフェに参加するように努めている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>サービス利用前の事前面接で本人様、家族様の要望を聞き、安心して頂けるようにしている。又、入所後には安心して過ごして頂けるように度々声かけを行ったり、なじみの関係になれるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ユニット 1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている。	サービス利用を開始する段階で家族様が困っている事、本人様との関係、不安に感じる事等、しっかり聞き信頼関係をきずけるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入所時、本人様の状態を把握し、家族様、本人様の要望を聞き、サービスの内容を検討している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活の中で、介護するという考えではなく、一緒に過ごす中で、楽しいと感じる時間を提供出来るように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	本人様の状態を家族様に書面で6カ月ごとにお知らせしており、家族様の思いも聞きながら家族様にお願い出来ることはお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入所時にこれまでの生活歴を聞き、友人、親せきの方の面会も行っていたが、「コロナウイルス感染症」の防止対策の影響でどこまで支援できるか疑問である。	利用者の生活歴を確認し、個々の思いや馴染みを把握し、個性を熟知した上で、日々の関わりからその時の思いを汲み取りサービスに反映している。喫茶店にコーヒーを飲みに行ったり、家族の協力を得ながら外泊や外出を行うなど可能な限り実践に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(ユニット 1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士はなじみの関係が出来てきてお互いに助け合ったり、話し相手になったり、二人でゲームをされている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院等で契約終了した場合などは、その後の本人様の状態によって相談に応じている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人様に日頃の思いを聞き、家族様の思いも面会時等に把握するように努めている。なるべく思いに添えるように職員で検討し努めている。	日々の関わりや利用者毎に担当職員がより深く関わることで思いをしっかりと汲み取るように努めている。知り得た意向や要望などは全体日誌の連絡事項として全員で確認する他、事務所にメモを貼り職員全体で共有できるようにしている。自身で表現が難しい利用者にも表情や行動など注視し気付けるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面接、契約時に生活歴、生活環境、サービス利用を聞き、入所後は日頃のコミュニケーションの中で生活歴等把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の生活の中で本人様の身体状況、精神状態を把握している。		

自己評価	外部評価	項目(ユニット 1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人様がグループホームの中で穏やかにいきいきと暮らして行く為には、何が必要かなど職員ミーティング等で話し合い、又、家族様の意見も聞き介護計画を作成している。</p>	<p>担当の職員が本人の意向を確認しアセスメントを行っている。知り得た情報をまとめ、家族の意向を基に全体ミーティングで話し合い、計画作成者がまとめる形にて介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、サービス計画へ反映している。医師の意見など医療における内容も必要に応じ確認し作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子やケアの実践等は個人日誌と全体日誌に記録している。モニタリングと合わせて職員間で情報共有し、職員ミーティングでも話し合い介護計画の見直しに反映している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人様や家族様のニーズをくみ取り、柔軟な支援が出来るように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域のボランティア団体や近所の方との交流によって精神的な落ち着きが得られている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医は入所時に家族様の要望で決定している。当グループホームの協力医、その他の医療機関に主治医をお願いしている利用者様もおられ、いずれも往診で対応している。熱発等受診が必要な時は日曜祭日、夜間でも診察が受けられるようになっている。</p>	<p>主治医は希望により選べる形であるが、利用者の多くが、入所前から協力病院にかかっていた患者であり、主治医を変えることなく継続でき医療支援を受けることができている。皮膚科など専門科への受診は職員で受診を行っており、適切に医療が受けれる環境を整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は日々の関りの中で情報を看護職員と共有し、気づきや疑問点を相談している。またかかりつけ医に相談し指示を仰いでいる。主治医が健康管理も行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した場合、病院関係者と情報交換し、より良い医療が受けられるように努めている。また入院中も見舞いに行き、本人様の状態を把握し、医師、看護師から情報を頂いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合には、点滴、経管栄養等の医療行為が必要になるが、当施設では医療行為が限られているので、家族様には説明している。家族様と主治医と当施設との話し合いで方針を決定している。	医療行為が必要でない場合は可能な限り看取りを行う方針であり、入所時に看取りについての指針を説明し、同意を得ている。家族、主治医との話を重ね個別に寄り添い行っている。重度化した場合も主治医と話をした上で利用者の状態に合わせて適切に関係機関に繋げている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時や事故発生時の対応はミーティング等で話し合いを行っている。又消防署の救護訓練も前回から期間が経っているので、行いたい。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	火災や災害時の訓練は年2回おこなっている。今年度はコロナウイルス感染症の影響で1回しか行えていない。土砂災害を想定した訓練をどのように行うか検討中である。	消防訓練は夜間想定を含め、年間2回定期的に行い、内1回は消防署の立会いの元で実施している。緊急非常事態の連絡体制を整えており、緊急災害時は職員が駆けつける体制が構築されている。断水時には隣人宅が井戸水であり水の供給に協力を頂いたり隣近所との緊急時の協力関係も築かれている。	備蓄が十分にできていない現状があります。いつ起こるか分からない災害に対ししっかりと備蓄の備えをすることや、地域との災害時の協力体制を築いていけるように検討をしていくことなど、有事の事態に迅速に対応ができる体制を深めていけるよう期待します。



自己評価	外部評価	項目(ユニット 1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の人格やプライドを尊重し、否定しない声かけ、プライバシーを損なわない声かけを行っている。	個人を尊重し、否定しない声掛けの実践に取り組んでいる。話し合いなどを通して全員が意識を持ち行っていく風土が形成されている。プライバシーに係ることは職員同士で話し合い、声掛けの工夫や配慮がなされている。管理者も日々意識して全体をみていき指導することで適切な管理を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中で本人様の自己決定（洋服を選ぶ、手作業の選択、散歩の選択）を引き出し、希望に沿うように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様が自由に行動している時は、見守り、他の利用者様とのトラブルになるような事は止めている。入浴の順番は本人様の希望にそって行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日着る洋服は本人様を選んだり、化粧を行ったりされている。美容院は当施設にボランティアが来られるので、そこで本人様の希望にそって行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は外注食の為、メニューは決まっているが、利用者様が食べにくいものは好きなものに変更している。材料の下ごしらえや、食器の片付けなど、好きな方が行って下さっている。	外注によりメニューが管理され、その日の食材が届けられ事業所内で調理をしている。その中でも天ぷらが好きな利用者も多いことで、時に天ぷら料理を取り入れたり、調理レクやお菓子作りも行うなど利用者の楽しみとなる食の提供がなされている。材料の下ごしらえや準備、片づけなど利用者が参加し行われている。	

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>外注食の為、カロリー計算されたメニューになっている。嚥下機能の悪い方はキザミ食やお粥を提供している。水分量は一日の摂取量の目安に満たない場合は好きな飲み物を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>夕食後に口腔ケアを行っている。毎食後に行っている方もおられる。声かけを行い本人様に行ってもらっているが、不十分なので職員が再度行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>昼夜を問わずトイレで排泄を行っている。排泄チェック表を記入して一人一人の排泄時間を考慮して時間を考えて、トイレ誘導を行ったり、本人様が行こうとされた時に介助している。夜間はポータブルトイレをベッドの側に置き支援している方もおられる。</p>	<p>排泄表を基に、個人の排泄パターンを把握し個別のタイミングで誘導することや、利用者の個々の仕草や様子をみながら適宜個別に対応を実践している。紙パンツ使用の方が布パンツで過ごせるように改善がなされたりと効果も得られている。便秘の予防も水分摂取量、野菜の摂取などの管理や運動を心がけている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘の予防の為、水分量や野菜の摂取に気を付けて、足りないと思われる時は声かけを行っている。午後からは身体を動かすレクリエーションを行ったり、体操も行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週2回の入浴を行っている。入浴の声かけに応じて頂けない時は時間をずらしたり午後から入浴して頂くようにしているが、翌日に変更する場合もある。</p>	<p>週2回の入浴を目途に午前中に行っている。日程は利用者毎に決めてはいるが、入りたくない場合は声掛けを工夫したり、日時を変更したりと無理強いをせず柔軟に対応している。浴槽に移乗が難しい方にも2人体制で浴槽に入れる支援を行い喜ばれている。好みのシャンプーがあれば個別に用意を整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<b>○安眠や休息の支援</b>  一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	夕食後はリビングで過ごされ、 一人一人就寝時間が異なってい る。リビングでテレビを見られ たり居室で衣類を整理したりし て過ごされている。		
47		<b>○服薬支援</b>  一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	利用者様が服用している薬は薬 の説明書にて理解しており、症 状の変化があれば記録している。 服用時も確実に本人様の薬を 服用するように確認方法を決 めている。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b>  張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	一人ひとりの生活歴を把握し、 日々の会話の中で本人様の思い を聞き、個々の思いに添えるよ うに支援している。		
49	18	<b>○日常的な外出支援</b>  一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	施設の近辺での散歩は天気の良い 日には行っている。施設の裏庭 で時々日光浴をしながらお茶を 飲んでいる。地域のイベントに 参加することがありましたが、 コロナの影響で思うように外出 支援が出来ていません。	天気や気候のいい時は散歩を行 い、事業所の裏庭で日光浴をし て過ごすことや、時に車で近隣 の公園に行くなど自然や外気に 触れることが生活の一部とな っている。花見やさつき見学な ど季節に応じた行事として出 かけることも利用者の楽しみ となっている。	
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b>  職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	お金は施設では預からない事 になっているが、本人様が家族 様の了解のもと、少額持ってお られる方もおられ、通販で買 い物をされている。		

自己評価	外部評価	項目(ユニット 1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>携帯電話を持っておられ、家族様に電話をされている。また、利用者様の要望で家族様に電話をされる事もあります。定期的に家族様からハガキが届く方もいる。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビングでテレビを一緒に観賞されたり、利用者様同士で会話されたりと自由に過ごしている。利用者様が作成されたカレンダー、貼り絵等の作品を飾って落ち着けるような雰囲気作りに工夫している。</p>	<p>庭に面する一面は出入り口もガラス面の広い造りとなっており、日差しがよく入りリビングは明るい環境である。ソファーに座りくつろぎながらテレビを見たり、利用者の動きや様子に合わせてスペースの配置換えをするなど柔軟な対応がある。利用者の作品も季節に応じて展示され和める生活空間が作られている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>一人になりたい時や休みたい時は自室に帰られている。リビングでは利用者様同士で話をされたり、ソファーでテレビを見たり、腰が痛いからと歩かれる方もいる。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には自宅で使用していた家具や写真、テレビを持って来られている。自室では衣類の整理を毎日おこなっている方もいる。</p>	<p>自宅の雰囲気をそのままに環境を整えられるように、初回面接は自宅で行うことや家族に確認するなど、個人の馴染みである生活環境を作る配慮がなされている。仏壇やタンスなどそれぞれに思い入れのある物が持参されており、個人の居心地良く過ごせる環境となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>一人ひとりの出来る事、出来ない事、わかる事を考慮して、事故防止につながるように家具の設置場所や展示物の場所を工夫して自由に動けるようにしている。</p>		

V アウトカム項目( ユニット 1 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(ユニット 2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	施設理念と職員理念を決め、職員理念は三か条にして、朝、夕の申し送り時に唱和している。 職員は実践に繋げていくため、目標を決め、自己評価を行っています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近所の方とは時々話をしたり、お花やみかん等を頂きました。地元のこども園、小学校、ボランティア団体の慰問を受けたり、小学校の運動会、盆踊りに招待されていた。今年はコロナウイルス感染予防の為小学校の運動会等中止になっている。9月の敬老会には交流出来ればと期待している		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	事業所が積み上げてきた認知症の人の支援の方法等を地域で役立てる事がないか民生委員さんに相談し検討している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では利用者の状況や施設状況、行事報告、事故報告等を行い、意見交換を行っている。 頂いたご意見は取り入れるようにしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市の担当者とは日頃から連絡を取り、疑問点など、相談にのって頂いている。この度担当者が変わったので、協力関係が築けるように努めたい。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	施設の周辺は坂道になっており、玄関を出ると事故になる可能性が高いので玄関の施錠は行っている。裏庭には日光浴に出られるようにしている。身体拘束廃止委員会を行いスピーチロックも含め、本人様の自由に行動出来るようなケアに取り組んでいる		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	ミーティングで身体的虐待、言葉による虐待を話し合い、虐待にあたる行為はどのような事かなど防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見制度はミーティング等で学び活用出来るようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結時には十分な説明を行い、疑問点にも納得出来るように説明を行っています。入所後に疑問が生じた場合はその都度説明を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議、面会時等で家族の要望を伺うようにしている。本年度は「コロナウイルス感染症」の影響で家族交流会を中止にしましたが、例年は家族交流会でもご意見を伺うようにしています。		



自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員の意見や提案はミーティングや毎日の申し送り時に聞いている。代表者と相談し反映出来るようにしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員は自己目標を設定し、半年後に自己評価を行うと共に、勤務状況に対しても自己評価、管理者評価を行っている。向上心、やる気を持てるように努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	管理者は職員一人一人のケアの力量を把握し、職員からの質問に答えたり意見交換を行い介護力、知識の向上を助けたり、施設外の研修に参加出来るように努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	職員は地域の研修や介護職のケアカフェに参加するように努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス利用前の事前面接で本人様、御家族様の要望を聞き、安心して頂けるようにしている。又、入所後には安心して過ごして頂けるように度々声かけを行ったり、なじみの関係になれるように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている。	サービス利用を開始する段階で家族が困っている事、本人様との関係、不安を感じる事等、しっかり聞き信頼関係をきずけるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入所時、本人様の状態を把握し、御家族様、本人様の要望を聞き、サービスの内容を検討している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活の中で、介護するという考えではなく、一緒に過ごす中で、楽しいと感じる時間を提供出来るように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	本人様の状態を御家族に書面で6カ月ごとにお知らせしており、御家族の思いも聞きながら御家族にお願い出来ることはお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入所時に今までの生活歴を聞き、友人、親せきの方の面会も行っていたが、「コロナウイルス感染症」の防止対策の影響でどこまで支援できるか疑問です。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士はなじみの関係が出来てきて他利用者様を自分の家族だと思っておられ、お世話をされている		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院等で契約終了した場合などは、その後の本人様の状態によって相談に応じている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人様に日頃の思いを聞き、御家族様の思いも面会時等に把握するように努めている。なるべく思いに添えるように職員で検討し努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面接、契約時に生活歴、生活環境、サービス利用を聞き、入所後は日頃のコミュニケーションの中で生活歴等把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の生活の中で本人様の身体状況、精神状態を把握している。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人様がグループホームの中で穏やかにいきいきと暮らして行く為には、何が必要かなど職員ミーティング等で話し合い、又御家族様の意見も聞き介護計画を作成している。		
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子やケアの実践等は個人日誌と全体日誌に記録している。モニタリングと合わせて職員間で情報共有し、職員ミーティングでも話し合い介護計画の見直しに反映している。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人やご家族のニーズをくみ取り、柔軟な支援が出来るように取り組んでいます。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域のボランティア団体や近所の方との交流によって精神的な落ち着きが得られている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	主治医は入所時に御家族様の要望で決定している。当グループホームの協力医、その他の医療機関に主治医をお願いしている入所者もおられ、いずれも往診で対応している。熱発等受診が必要な時は日曜祭日、夜間でも診察が受けられるようになっている。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は日々の関りの中で情報を看護職員と共有し、気づきや疑問点を相談している。またかかりつけ医に相談し指示を仰いでいる。主治医が健康管理も行っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入所者が入院した場合、病院関係者と情報交換し、より良い医療が受けられるように努めている。また入院中も見舞いに行き、本人様の状態を把握し、医師、看護師から情報を頂いている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合には、点滴、経管栄養等の医療行為が必要になるが、当施設では医療行為が限られているので、ご家族には説明している。御家族と主治医と当施設との話し合いで方針を決定している。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時や事故発生時の対応はミーティング等で話し合いを行っている。又消防署の救護訓練も前回から期間が経っているので、行いたいと思います。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	火災や災害時の訓練は年2回おこなっている。今年度はコロナウイルス感染症の影響で1回しか行えていない。土砂災害を想定した訓練をどのように行うか検討中です。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の人格やプライドを尊重し、否定しない声かけ、プライバシーを損なわない声かけを行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中で本人の自己決定（洋服を選ぶ、手作業の選択、散歩の選択）を引き出し、希望に沿うように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様が自由に行動している時は、見守り、他利用者様とのトラブルになるような事は止めている。入浴の順番は本人様の希望にそって行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日着る洋服は本人様を選んだり、化粧を行ったり、されている。美容院は当施設にボランティアさんが来られるので、そこで本人の希望にそって行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は外注食の為、メニューは決まっているが、利用者様が食べにくいものは好きなものに変更している。材料の下ごしらえは手伝って下さる。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	外注食の為、カロリー計算されたメニューになっている。嚥下機能の悪い方はキザミ食やお粥を提供している。またトロミを使用している。水分量は一日の摂取量の目安に満たない場合は好きな飲み物を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	夕食後に口腔ケアを行っている。毎食後に行っている方もおられる。声かけを行い本人様に行ってもらっているが、不十分なので職員が再度行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	昼夜をとわずトイレで排泄を行っている。排泄チェック表を記入して一人一人の排泄時間を考慮して時間を考えて、トイレ誘導を行ったり、本人様が行こうとされた時に介助している。夜間はポータブルトイレをベッドの側に置き支援している方もおられる。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘の予防の為、水分量や野菜の摂取に気を付けて、足りないと思われる時は声かけを行っている。午後からは身体を動かすレクリエーションを行ったり、体操も行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	週2回の入浴を行っている。入浴の声かけに応じて頂けない時は時間をずらしたり午後から入浴して頂くようにしているが、翌日に変更する場合もある。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	午後から居室で休息される方も おられる。夜は一人一人就寝時 間が異なっている。リビングで テレビを見られたり居室で衣類 を整理したりして過ごされている。		
47		○服薬支援  一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	利用者様が服用している薬は薬 の説明書にて理解しており、症 状の変化があれば記録している。 服用時も確実に本人様の薬を 服用するように確認方法を決 めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	一人ひとりの生活歴を把握し、 日々の会話の中で本人様の思い を聞き、個々の思いに添えるよ うに支援している。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。	施設の近辺での散歩は天気の良い 日には行っている。施設の裏庭 で時々日光浴をしながらお茶を 飲んでいる。地域のイベントに 参加することが有りましたが、 コロナの影響で思うように外出 支援が出来ていません。		
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	お金は施設では預からない事にな っていますが、本人様が家族の 了解の元、少額持っておられる 方もおられる。		



自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	携帯電話を持っておられ、家族様に電話をされています。また、利用者様の要望で家族様に電話をされる事も有ります。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングでテレビを一緒に観賞されたり、利用者様同士で会話されたりと自由に過ごしておられます。利用者様が作成されたカレンダー、貼り絵等の作品を飾って落ち着けるような雰囲気作りに工夫しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	一人になりたい時や休みたい時は自室に帰られています。リビングでは利用者様同士で話をされたり、ソファでテレビを見たり、車椅子を自走して館内を動かれている方もおられます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には自宅で使用していた家具や写真、テレビを持って来られている。自室では衣類の整理を毎日おこなっている方もおられます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	一人ひとりの出来る事、出来ない事、わかる事を考慮して、事故防止につながるように家具の設置場所や展示物の場所を工夫して自由に動けるようにしています。		

V アウトカム項目( ユニット 2 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームいこいの里

作成日 令和2年9月2日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画を作成するにあたり、職員間での話し合いを行っているが、変更時に改めて家族の要望を聞いていない。	職員間での話し合いの後、家族に要望を聞く。	職員ミーティングで、アセスメントを元に変更店を話し合った後に家族に要望を聞き介護計画に反映していく。	6ヶ月
2	35	食料品の備蓄 地域と災害時の協力体制を築く。	3日分の食料品の備蓄を行う。 地域との協力体制を築く。	3日分の飲料水、食料品の備蓄を行う。 災害時における協力関係を地域にお願いする。	6ヶ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。